

# 校内研修計画

## 1 学校課題

全校児童が、少人数であり保育園から小学校卒業までほとんど変動のない人間関係の中で生活しているため、複数の意見の表出の機会や互いに意見を交流する場が少ない。学力の確実な習得のため、少人数を生かした個別指導を行うとともに、自主的に学ぼうという意欲をもたせ、自主的な学びの方法を身につけさせることを意識した指導も不可欠となっている。校内研究の主題として「子どもが自ら学び、表現し、考える力を高める指導法の工夫」を設け、アクティブラーニングの観点として「討論的授業」を国語科において導入し、児童の自主性、思考力の向上を目指すとともに、集団としての学習の高まりをめざしてきた。児童は、自らの考えをもち、根拠をもって意見を表現することができた。「主体的・対話的、深い学び」において互いに意見を交流させ、少人数の中でも多様な意見を出すことができ、自らの考えを深めることをめざしている。

## 2 研究主題

「子どもが自ら学び、表現し、考える力を高める指導法の工夫」（3年次）  
～思考をつなぎ、意見をつなぎ、学びをつなげる「討論的授業」をとおして～

## 3 主題設定の理由

岩手小学校の教育目標「自ら学び心身共に健康な子どもの育成」を具現化するために、小規模校のよさを生かしつつ、豊かな人間性と心情を育む教育の充実が必要である。国や県などから喫緊の課題として「学力向上への取り組み」が出されている。「生きる力」のベースとして国語力がある。書かれている文や、問題を捉えることができなければ、課題を解決するまで至らない。国語科における基礎基本や活用力が他の教科にもよい影響を及ぼしていることは、昨年度の研究の成果としても現れている。また、「主体的・対話的で深い学び」は、今後の日本の教育に必要な力でもある。その手立てとして「討論的授業」への取り組みを続けてきて、よい結果を生み出している。また、それは、自らの思考を深い思考へつなぎ、他の児童の意見をつなぎ、個と集団の学びをつなぐことになる。以上の理由から本年度の校内研究は、国語科を中心とした討論的授業の研究の3年目の研究とする。

## 4 研究の具体的内容と方法

### (1) 具体的内容

- ① 個を育て、個をきたえる指導の工夫
  - a 討論的授業につながる基礎的学力を伸ばす手立ての工夫をする
  - b 討論的授業につながる基礎的学習技能を育てるための手だてを工夫する
- ② 集団の中で意見を出し、他の意見を認め、自らの考えを深める指導の工夫
  - a 小集団の中で多様な意見を知る工夫をする（意見の多様化）
  - b 根拠をもとに理由を持ち、主体的に考える工夫をする（読解力）
  - c 他の意見を認める個と集団をつくる工夫をする（学習力・学級力）
  - d 双方向性での意見の交流、討論へつなげる指導をする（討論力）
- ③ 家庭との連携
  - a 家庭学習への取り組み
    - 〈1〉 自主学習指導の内容（習慣化・型・やり方 など）
    - 〈2〉 自主学習の内容とその指導（何を、どのようにするか など）
  - b 学校便り「岩手っこ」の発行（家庭教育・子供の発達と学習 等）

### (2) 研究の方法

研究の基本は授業である。授業を行い、児童の事実を捉え、研究とする。したがって研究授業を行い、検討する。また、校内における共通財産として研修の場を設ける。

- ①全体研究会 ②研究授業 ③校内研修 ④実践授業

## (3) 研究計画

月	日	曜	回	主な内容（予定）	会の持ち方
4	4	火		研究の方向について	全体
	26	水	1	校内研究の全体計画について	全体
5	10	水		教育研究① 教協春季教研	
	17	水	2	研修①・ブロック研究	全体・ブロック
	24	水		教育研究②	
	31	水	3	研修②・ブロック研究	全体・ブロック
6	7	水	4	研修③・ブロック研究	全体・ブロック
	14	水		教育研究③	
	21	水	5	全体研（B報告）・ブロック研究	全体・ブロック
	28	水		ブロック交流	
7	12	水	6	ブロック研究	ブロック
	31	水		教育研究④	
8	4	水		教育講演会・北中ブロック交流	
	21	水	7	全体研・教育課程還流報告	全体
	30	水		教育研究⑤ 統一授業研	
9	6	水	8	全体研・全国学テ・県学調 分析	全体・ブロック
	13	水	9	ブロック研	ブロック
	20	水		教育研究⑥	
10	4	水	10	仮) 指導案検討①	全体
	18	水	11	仮) ブロック研	ブロック
	25	水	12	仮) 研究授業①	全体
11	1	水	13	仮) 指導案検討②	全体
	8	水	14	仮) ブロック研	ブロック
	15	水	15	仮) 研究授業②	全体
	22	水		ブロック交流会	
	29	水		教育研究⑦	
12	6	水	16	全体研（紀要について）・ブロック研	全体・ブロック
1	10	水		教育研究⑧	
	17	水		ブロック交流	
	24	水	17	ブロック研（まとめ）	ブロック
	31	水	18	全体研（まとめ 来年度の方向性）	全体
2	7	水		教育研究⑨ 統一授業研	
	14	水		教育研究⑩ 東山冬季教研	
	28	水	19	紀要の読み合わせ（校正）	全体・ブロック
3	7	水	20	紀要作成（拾いこみ）	全体